

2002年8月14日

いすゞV-PLANをベースにした「新3ヵ年計画」の策定について

いすゞ自動車株式会社はこの度、企業価値の回復と企業競争力の強化のために、現在推進している中期経営計画（ISUZU V-PLAN）の一部見直し及び実行の加速と、財務構造の抜本的改革を柱とする、新3ヵ年計画（2005年3月期まで）の大枠を策定した。

いすゞはV-PLANの推進により着実に業績を回復させ、2002年3月期には3期振りに営業黒字化を達成した。しかしながら、国内商用車市場の長期低迷や米国販売の不振など、環境は依然厳しく、この様な中でV-PLANを確実に達成し、盤石な企業体質の構築を図るために、施策の見直しを行うとともに、筆頭株主である米国ゼネラルモーターズ社（以下GM）や金融機関の協力を得て、事業体制と財務構造の抜本的な改革を実施することとした。

新3ヵ年計画の骨子については、既にGM及び、メインバンクであるみずほコーポレート銀行より大筋のご了承を得ており、GMはパワートレイン事業の協業強化、出資の無償消却と増資の引き受け等により、総額約600億円の新規資金を投入していすゞの資本の改善等を図りながら、引き続き筆頭株主として役割を担う。

いすゞは今後、主要取引金融機関を含めて、各関係者のご了解を戴きながら、詳細な実行計画を策定していく。

新3ヵ年計画の骨子は次のとおり。

1. 事業体制の見直し

☆ 北米SUV事業の再構築

- ・ 北米SUV生産事業の合理化
- ・ 北米のSUV販売車に、GMからのOEM車を追加
- ・ 北米現地法人の一層のスリム化

☆ パワートレイン事業のGMとの協業強化

- ・ GMによるISPOL (Isuzu Motors Polska Sp. Zo.o.) への資本参加と、DMAX (DMAX, Ltd.) への出資拡大による、事業の安定化

- I S P O L、D M A X 両社への G M 出資比率を 6 0 % に引き上げ
- ディーゼルエンジンの開発会社を合併で設立

2. 要員削減の推進加速 (V-P L A N 目標体制の早期確立)

☆ 生産要員を含む希望退職の実施

- ・ 単体 8, 7 0 0 名体制の早期確立に向け、約 3, 7 0 0 名の希望退職募集

3. マネジメント改革

☆ G M から代表取締役副社長 (予定) 派遣

4. G M による支援

☆ G M 出資株式の無償消却、及び増資

- ・ G M 現行保有全株式 (約 619 百万株) を無償消却し、新規に約 1 0 0 億円出資
(出資比率 1 2 % 相当)

5. 金融支援要請

☆ 主要行による債務の株式化

- ・ 約 1,000 億円の債務を優先株発行により株式化

☆ 必要資金対応と融資残高の維持等

【新 3 ヶ年計画の目標】

	現 状	新 3 ヶ年計画
	(2002 年 3 月期)	(2005 年 3 月期)
連 結 売 上 高 :	1 兆 5, 9 7 7 億円	1 兆 2, 7 0 0 億円
連結営業利益 :	1 5 1 億円	6 0 0 億円 以上
連結当期利益 :	△ 4 2 9 億円	5 0 0 億円 以上
総 資 産 :	1 兆 3, 2 4 1 億円	9, 8 0 0 億円
有利子負債 * :	6, 7 8 9 億円	5, 0 0 0 億円
*除く金融事業		

以上